



■ 学校教育目標

『自ら・共に拓く塚小っ子』

- 進んで考える子
- 思いやりのある子
- 心と体をきたえる子

発行日: 令和6年6月13日

運動会の取組を通して目指してきたこと

いよいよ運動会本番の日が近づいてきました。

運動会の取組を通して、私たち職員は「最後まであきらめない」「協力・助け合い・励まし合い」「自分から・積極的に・前向きに」という資質・能力の育成を目指してきました。

職員全員で子ども一人一人のよさを大切にし、不安な気持ちがあればそれを受け止め、支えながら練習を積み重ねてきたこの2週間でした。

昨日行った総練習。子どもたちは、本番のような気持ちをもって、全力で頑張りました。競技する姿も応援する声も本番さながらの真剣さと盛り上がりを感じることができました。

本番まであと2日あるだけに、総練習以上にみんなで息のそろった姿を始めから終わりまで見ていただくことができると確信しています。ぜひ閉会式が終わるまで、子どもたちの頑張っている姿を目に焼き付けてください。

運動会本番で目指したいこと

今年の運動会の児童会スローガンを初めて目にしたとき、私はとても嬉しい気持ちになりました。それは、「みんなが楽しいと思える」という言葉が入っていたからです。

私は、「学校が楽しい！」とみんなが思える塚町小学校にしたいと子どもたちに話してきました。ですから、みんなの頑張りや優しさや元気によって、みんなが「楽しい！」と思える運動会にしよう!と考えてくれたことがすごく嬉しかったのです。

「みんなが楽しいと思える」の中にある「みんな」は、子どもたちだけでなく、会場にいるすべての人たちのことを指していたんだね、と思えるような運動会になればいいですね。

そのためにも、ぜひ観客席にいらっしゃる皆さんには、たくさんの声援や惜しみない拍手を子どもたちに送り、共に楽しんでいただけたら幸いです。

